

くろんど園地散策会のご案内＜最終版＞

2020 年 9 月 16 日

調査委員会

先日、くろんど園地散策会の案内をお送りしましたが、最終的な下見の結果
すいれん池（昼食）から八つ橋への行程の散策路周辺が著しく刈り込まれ、当初の
観察が困難な状況になりましたので、行程を変更致します。
前案内でも連絡しましたが、少し岩場的なところもありますので登山靴を履き、
ストックを携帯して戴くとより安全です。

記

1. 日・時間 : 2020 年 9 月 18 日（金）
2. 集合場所 : 京阪交野線私市駅前広場
3. 集合時間 : 1 班及び 3 班 10 時 30 分、2 班及び 4 班 10 時 45 分
集合後、班ごとに出發します。
4. 持ち物 : 弁当、飲料水、ルーペ、帽子、図鑑、雨具、ストック
5. 行 程 : 私市駅 → 月の輪の滝 → すいれん池（昼食） → くろんど池で解散
(帰路は同じところを引き返します。)

※注意事項

- ・ 班別に集団で行動しますので、密になることを避けつつ、先行したり集団に遅れたりしないようにお願いします。
- ・ トイレは京阪私市駅、昼食場所のすいれん池を含め園地内に各所にあります。
- ・ ゴミはすべて持ち帰って下さい。
- ・ 下見でスズメバチの発現はありませんでしたが、時期的には危険な状況がありますので、黒っぽい衣服、黒っぽい帽子の着用は避けて下さい。また長袖のシャツを着るなど露出部分を少なくしてください。
- ・ 当日朝の NHK 天気予報で、「大阪」の午前または午後の降水確率が 50 % 以上の場合中止します。
- ・ 解散は園地案内所付近で 2 時頃になりますが、その後私市駅までは 1 時間以上かかります。



月の輪の滝



ミズオトギリ：
午後 3 時過ぎに
開花し夕方には
萎む一日花、当
日は果実のみの
観察となる。

<散策コース概略>



<私市の名の起り>

「日本書紀」に私部（きさいちべ）と記されている。これは后（きさき）のためにいろいろ関係した仕事をする役所・これを私府（きさいふ）といい、その任に当たる人を私官（きさいかん）といわれた。后のために農耕をし、身の周りの世話をする人々を総称して私部といわれた。物部守屋が蘇我馬子に対抗するため、自分の所領で重要な土地であった交野の沃野を皇后・後の推古天皇に献上した。この時以来、交野市の地は皇后の為の皇室領となり、交野の村々は皇后の部の民として組織された。その中心の村が私市であり、私部であった。

<くろんど池の由来>

奈良時代に、蔵人（くろうど）職と呼ばれる貴族の荘園の灌漑用の池として造られたと言われている。「蔵人」がなまって現在の「くろんど」になったと言う説がある。江戸時代初期には灌漑設備として強化され、ほぼ現在の形になっていた。昭和39年に、くろんど池の隣に「高山ため池」ができ、灌漑の主役はそちらに移行したが、今でも農業用水としての役目は失っておらず、奈良時代から1300年もの間、田畑に水を提供し続けている。

<月の輪の滝>

交野にはいくつかの滝がある。その中でも「源氏の滝」「鮎返しの滝」「月の輪の滝」の3つは有名。「月の輪の滝」は私市の山中を流れる尺治川の流れの中にあり、川の流れによって花崗岩の巨岩や岩盤が削られ、その合間を流れる滝になった。昔は「金剛の滝」と呼ばれ、獅子窟寺の僧侶の修行の場であった。その後いつのころから現在の「月の輪の滝」でよばれるようになったが、由縁は不詳である。